

## インクルーシブフットボールフェスタ Ibaraki 2022

令和5年3月12日(日)

笠松運動公園 体育館

参加人数：42名

### レポート

佐和 WSFC の皆さん、知的障がいのある皆さんが参加し、ゲストには、デフサッカー大谷選手、アンプティサッカー新井選手・岩崎選手・秋葉選手、知的障がい松山選手を招いて、アントラズとホーリーホックのコーチもスタッフとして参加していただき、審判にはフットサル委員会の方々にも協力いただき実施することができました。

最初は、新聞紙を丸めて自分たちで作ったボールでアイスブレイクを行い、まぜこぜチームでのフットサル交流、ゲストによる障がい者サッカー体験会、最後は、障がい者サッカーゲスト・スタッフチーム対佐和 WCFC のフットサル対決と、短い時間ではありましたが、参加した皆さんの笑顔がたくさん見られるなど、ステキな交流ができました。

(参加者の皆さんの感想)

#### ○県立特別支援学校 男子生徒

・サッカーの試合を見て、すごくカッコイイなあと思いました。1番すごかったのはドリブルが早いなあと思いました。自分でボールを蹴ったときはすごく緊張しましたが、みんなと一緒に楽しくやることができました。

#### ○保護者

- ・終わるのが少し早いと感じました。
- ・学校や放デイなどを通して、もっと宣伝してたくさんの人に参加してほしいと思った。
- ・初参加なのでそもそもどんな催しか分からずに参加したので、たくさんのスタッフの皆さんのご尽力で、怪我もなく無事に参加できてよかったと思います。子どもも楽しそうに、一生懸命取り組んでいたように思います。
- ・このようなイベントに初めて参加しました。知的なので、子どもがどのくらい参加できるか未知数で最初は心配でしたが、決められた活動ができなくても受け入れてくださり、子ども自身も生き生きと活動している姿が見られました。何かスポーツをやらせてあげたいと常々思っていたのですが、なかなか場が見つからずにはいました。今回機会を得て、思いきって参加してみてもよかったと思います。ありがとうございました。
- ・地元のジュニアユースの方や J リーグ関係や特別支援学校のスタッフ、さまざまな団体の方が参加していて、それぞれに新しい経験ができていたと感じた。心疾患があるため、学校や一般のチームへの所属が難しい息子ですが、楽しそうにイベントに参加する姿を見て嬉しく思った。(保護者)

#### ○佐和 WCFC

- ・この活動を通して、改めてサッカーの楽しさを知れました。小さい子からアンプティサッカーの日本代表の方などとのサッカーは貴重な体験になりました。ブラインドサッカーやアンプティサッカーはやってみると難しかったですが、優しく教えていただけたので楽しい時間になりました。
- ・今日は貴重な体験の機会をいただきありがとうございました。この体験を通して、自分たちが何の不自も無くサッカーができていることに感謝しようと思いました。初めは障がいのある方と、どのように接したら分からなかったけれど、相手から優しく接してもらえたので、リラックスして話すことができました。体験してみないと分からないことが多かったのも、とてもよい経験になりました。

以上

(インクルーシブ委員会 今橋 寿彦)

